



がくじぶえん 学而不厭

校訓「自律」「創意」「友愛」

君田中学校通信
VOL. 11
令和5年3月8日

ご卒業おめでとうございます。



本日、令和4年度三次市立君田中学校第76回卒業証書授与式を挙
行いたしました。3年ぶりにご来賓の皆様のご列席を賜り、保護者、
在校生、教職員で卒業生15名の新たな門出を祝福することができま
した。今月号では、校長式辞（抜粹）、在校生代表送辞、卒業生代表答辞を掲載します。

校長式辞（抜粹）

「卒業」それは人生の大切な節目の一つです。君田中学校の歴史の一ページをしるし、今まさに中学校を旅立とうとしている皆さんへ、その旅立ちにあたり、二つのメッセージを贈ります。

一つめは、夢や目標を持ち、その実現に向けて努力して欲しいということです。

2024年（再来年）発行の新しい一万円札に描かれることになっている渋沢栄一が書いた「論語と算盤」という本があります。現在、侍ジャパンの栗山監督が日本ハム監督時代に選手たちに配って読ませたことでも有名で、あの大谷翔平の愛読書とも言われています。その中の一節に「志」に関する次の言葉があります。「根拠となるべき大きな志が立ったならば、今度はその枝葉となるべき小さな立志について日々工夫することが必要である。」別な言葉でいうと「高い志」を持ち続けて欲しいということです。つまり、立志式でのスピーチ、新しい入試制度で挑んだ自己表現がまさに皆さんの「高い志」であり、壁にぶち当たっても一步一步前進しようとする強い意志を持ち続けてください。

二つめは、君田中学校の校風でもある「学而不厭」の精神を忘れないことです。「学而不厭」とは、学び続ける」という意味です。みなさんは、この三年間読書活動に取り組み、三年次にブックトークで読書から学んだことを発表しました。本との出会いで、自分の中に今までなかった見方・考え方を知ることが出来たり、自分自身を振り返ることが出来たりしたと思います。是非、自ら興味・関心を持ち、自分から学び続ける意志を持ち続けて欲しいと思います。

在校生代表送辞

冬の厳しい寒さも和らぎ、日に日に春の暖かさを感じられるこの吉日。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今、皆さんの心の中には、これまでのたくさんの思い出がよみがえっておられることと思います。共に努力し、成長し、そして共にそれを喜び、時に悔しんだ三年間。生徒同士で支え合い、助け合い困難を乗り越えていくその背中にはたくましい先輩の姿でした。中学校生活を終えられた充実感や卒業される喜びを感じる春。私達在校生にとっても三年生と共に過ごした大切な思い出です。今年度の生徒会スローガンは「Next Future ～思いやりの心を大切に～」でした。スローガンの「Next Future」には、「次の人のために何ができるか」という想いが込められ、様々な場面でこの目標の達成を目指されていました。ここに込めた想いを聞いて、部活動や体育祭、文化祭などの行事の取組を通して、三年生の皆さんはその姿を体現されていたと、今、振り返っています。部活動では、入部したばかりで不安の大きかった私たちを、優しく丁寧に指導してくださいました。そのおかげで、今では一人一人が自分で考えて行動し、目標をもって頑張ることができています。先輩方の姿を見て、今度は私たちが後輩に伝えていかなければならないと思っています。体育祭は、三年生がリーダーとなり、生徒全員が協力的な雰囲気の中で楽しく実施できました。その中でも印象に残っているのが、全校生徒で行う応援です。応援の練習では、三年生の皆さんが前で見本として踊ってくださったり、映像を用いた覚えやすい工夫をしてくださっていました。その事で、みんなで教え合いながら、また、盛り上がりながらダンスを完成させることができました。みんなが自由な雰囲気で行ったことは、三年生の考えがあったからだと思、感じています。この他にも、様々な場面で準備から片づけまでを率先して動いておられる姿、クラス一丸で協力し合い助け合う姿、目標に向かって何事にも一生懸命取り組みやりとげる姿を見せてくださいました。私達も、君田中学校の伝統と「Next Future」に込めた想いを引き継ぎ、来年度、工夫しながら、様々な行事の充実を図りたいと思います。これから先輩方はそれぞれの進路に進まれます。今とは環境も大きく変わり、「大変だ」と思うことも多くあると思います。しかし、中学校生活で積み上げてこられた経験や頑張りを励みに、また自分の夢の実現に向けて一歩ずつ、一生懸命頑張ってください。私達在校生も先輩方の姿を追いかけ、先輩方を越え、さらに充実した中学校生活を送ることができるよう、より一層努力していきます。最後になりますが、「ありがとう」という感謝の言葉は幸せを生む言葉だと思います。卒業生の皆さん、これからも元気に、それぞれの進路で活躍されることをお祈り申し上げるとともに、在校生一同これまでの感謝を「ありがとう」という言葉に込めて、送辞といたします。本当にありがとうございました。

令和五年三月八日 在校生代表 川原 琉夢

卒業生代表答辞

春はまだ浅く、風に冷たさが感じられる今日この頃、私たち十五人は、この君田中学校を卒業します。在校生の皆さん、先生方、卒業式の準備をしてくださりありがとうございます。そして、本日、来賓の皆様をはじめ、私たちのためにご臨席くださいました皆様、誠にありがとうございます。思い返せば三年前、私たちはこの場所で小学校の卒業式を行いました。その時は私たち卒業生と保護者の方々、先生方のみで在校生はいませんでした。ですが今は在校生の皆さんがいます。皆さんと共に卒業式を行うことができ、嬉しい気持ちでいっぱいです。胸を踊らせ入学した一年生。新型コロナウイルスの影響で、入学してすぐに休校となり、約二ヶ月間学校に来ることができませんでした。休校している間、早く学校に行きたい、どのような学校生活が始まるのか、部活動は大変なのか、といった様々な気持ちでいっぱいでした。ようやく学校が始まった六月、想像していた中学校生活とは違い、楽しみにしていた部活動も体育もありませんでした。学校行事も規模を縮小して行われ、虚しさ、次こそはという来年への期待がありました。自分たちの思い描いていた中学校生活に近づけた二年生。職場体験活動では、仕事の厳しさ、やりがいを学び保護者の方への感謝を改めて感じることができました。また修学旅行は、特に印象に残る行事となりました。工芸品や自然災害の恐怖について仲間とともに学び、集団行動をすることでさらに互いについて知ることができました。そして、夢の実現に向けて進んだ三年生。一、二年生の時に、思ったように行えなかった分も、部活動の練習に励みました。結果はそれぞれで悔しい時も嬉しい時もありましたが、最後までやりきることができました。また、運動会は二年ぶりに小中合同運動会が開催できました。運動会では、三年生の持ち前の団結力とそれぞれ個性の豊かさに成功させることができ、とても良い思い出となりました。こうして三年間を振り返ってみると、意見の食い違いでなかなか物事が決まらないこともたくさんありました。ですが、これは私たちの意見をより良いものにしたいという向上心があったからだと思います。十五人それぞれの個性が作り上げたこのクラス、そしてこのクラスメイトとともに過ごした宝物のような時間、この先も決して忘れることはありません。もうこの十五人と過ごすことができないことに、まだ実感が湧きません。私たちはこれから、それぞれの夢を実現させるために、それぞれの進路に進みます。大きな壁を乗り越えようとし、失敗して後悔することもあると思います。その時はこのクラスのみんな顔を思い出してください。その顔は、必ずあなたを励ましてくれています。そして、またこの十五人で集まりたくさんの思い出を語り合しましょう。在校生のみなさん、学校行事や委員会などで支えてくれて、本当にありがとうございました。今改めて、在校生の大切さを感じています。在校生のみなさんも、下級生を大切にしてください。先生方、迷惑をかけることばかりで、わがままな私たちのことを支えてくださりありがとうございます。先生方から教わったことを次のステージでも生かしていきます。そして保護者の皆様これまで十五年間支えてくださりありがとうございます。これからもたくさん頼ったり、迷惑をかけたりすると思いますが、少しでも自立した大人に近づけるように頑張ります。これから私たちは、新たな扉を開き、それぞれの進路で、また、少しずつ成長していきます。この君田中学校で学んだことを生かし、新たな環境でも挑戦し続け、夢を実現させていくことを誓い、答辞といたします。

令和五年三月八日 卒業生代表 小滝 陸人

3月の主な行事予定

日	曜日	行 事	日	曜日	行 事
9	木	ALT来校 部活動休養日 生徒会委員会 生徒下校 15:30 公立高校一次選抜合格発表	21	火	春分の日
10	金		22	水	
11	土		23	木	ALT来校 部活動休養日 生徒下校 15:30
12	日	君田町防災の日	24	金	修了式 離・退任式
13	月		25	土	年度末休業<春休み~4/5(水)まで>
14	火	生徒集会	26	日	
15	水	PTA交通指導	27	月	
16	木	ALT来校 部活動休養日 生徒下校 15:30	28	火	
17	金	公立高校二次選抜	29	水	
18	土		30	木	
19	日		31	金	
20	月	公立高校二次選抜合格発表			

※ 行事については、今後の状況により、変更することがあります。